

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	直鎖状ユビキチン鎖を生成する LUBAC リガーゼの統括的研究
研究代表者	岩井 一宏 (京都大学・医学研究科・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>応募者は、直鎖状ユビキチン鎖を生成する LUBAC というユビキチンリガーゼの発見者であり、その生理機能解明に著明な成果を上げてきた。研究業績は極めて独創性が高く、国際的に高い評価を受けている。</p> <p>本研究は直鎖状ユビキチン鎖の B 細胞リンパ腫やミオパチーなどへの関与の解明といった重要かつインパクトの高い対象を扱っており、これらは世界的にも先駆的なものである。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>